

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和4年8月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.55)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



第2回学校運営協議会より：広尾小・豊似小

広尾小学校と豊似小学校の今年度2回目の学校運営協議会が行われました。議事では教育環境を生かした取組が承認されました。また、学校からの情報提供を受け、熟議では子どもたちの実態（強み・弱み）についての意見交換をしました。

【広尾小学校：7月20日実施】

◇教育環境を生かした取組

・ふるさと学習で学んだ内容の発表 ・お年寄りと話
す機会づくり ・今の漁業を学ぶ ・家庭での役割
づくり～応援団だよりで啓発



◇子どもたちの実態

〈強み：よい所〉・お年寄りや下級生と交流が得意 ・気遣いができ優しい ・言葉がけ
がいい ・挨拶ができる ・自然や史跡の学習ができる ・人懐っこい ・学習に向かう
姿勢がよい ・素直さ ・思いやりや助け合いの心を持っている ・少数精鋭

〈弱み：伸ばしたい所〉・勉強や運動の量が足りない ・やりきる気持ち ・学習意欲が
弱い ・意外と歩かない ・物事を深く考える力 ・挨拶が少なくなった ・迷惑をかけ
るかもと引っ込み思案になりがち ・選択肢が少ない（スポーツ、クラブ）

【豊似小学校：7月21日実施】

◇教育環境を生かした取組

・地域人材の活用～読み聞かせ会、昔の遊びや農作物について学ぶ ・地域の自然を活用～野外活動の
推進 ・子どもたちの出番づくり～特別活動や各種
行事 ・家庭での役割づくり～応援団だよりで啓発



◇子どもたちの実態

〈強み：よい所〉・素朴、素直 ・児童同士の学び合いができる ・きめ細かに見守られて
いるので学校が安心できる場所 ・全部の生徒で一つのことに取組める ・達成感など
を全員で共有できる ・友達同士の関係が密 ・人懐っこい子が多い

〈弱み：伸ばしたい所〉・根気、粘り強さ ・自分で判断する力 ・発言力 ・豊似小以外
の子どもとの交流が消極的 ・広尾での行事にあまり参加していない気がする

家庭生活で大切にしたい子どもの役割！

各小学校の運営協議会の熟議では、学校教育とともに家庭での子どもたちの様子も話題となっています。望ましい生活習慣や挨拶など、家庭生活の中でご協力いただくことが必要となります。そこで、この「広尾っ子応援団だより」を活用しながら、ご家庭へのお願い等について紹介させていただきます。

《家族の話し合い（会議）で子どもの意識を高めましょう》

子どもは日々の家庭生活を通して、社会の中で生きていくための基本となる力を身につけていきます。家族での話し合いにより、子ども一人一人が自分の存在価値や有用感を意識できるようにしていきたいものです。以下、生活の中で配慮したい事柄を掲載させていただきます。

- 「～しながら」子どもの話を聞くと、子どもは親に話そうとしなくなるものです。
- 「どう思う・・・」と聞くようにすると、子どもは進んで話したくなります。
- 親が共感しながら聞くと、子どもは自分の話に自信をもてるようになります。
- 親が先回りして話さない。子どもは自分で考え行動してこそ、喜びを味わえます。
- 子どもから無理に聞き出そうとせず、問い詰めずに「待つ」ことも大切です。
- 「何をしたら叱られるか」を先に話し合っ、ルールを決めておきましょう。
- 子どもはお願いされたり頼られたりすると、自然と責任感が育つようになります。
- 家庭は共同生活の場であるという自覚や意識をもてるよう工夫してみましょう。
- 親が意識して、子どもに人間関係を経験させる機会をつくるのが大切です。

輝け広尾っ子：応援メッセージの紹介

先日、広尾高校吹奏楽部による演奏会「僕らのコンサート」に行ってきました。非常にレベルの高い演奏かつ、幅広いジャンルで曲目も多く、最後まで楽しむことができました。コロナ禍で様々な制限がある中で、3年生を中心に並々ならぬ努力をしてきたことが分かり、とても感動しました。

広尾高校吹奏楽部の皆様、改めて、この度は素晴らしい演奏をありがとうございました。そして、吹奏楽部の皆様をはじめとする未来ある広尾町の子ども達が、さらに活躍の場を広げていけるよう、私達大人が支援を進めたいと強く感じました。

(町内 20代 女性 8月17日受取)